

東京電力(株)福島第二原子力発電所事故に関する
第1回(平成24年度)現地調査結果について

平成24年 8月 9日

福島県原子力安全対策課

福島第二原子力発電所において、原子力事業者防災業務計画に基づく復旧計画(平成24年1月31日策定、5月31日改訂)の進捗状況(冷温停止の維持に必要な設備の本設設備への復旧)を確認するため、県と檜葉町、富岡町、大熊町*は、事故後3回目(平成24年度では1回目)となる現地調査を実施しました。(※オブザーバーとして参加)

記

1 確認状況

- (1) 日時 平成24年8月9日(木) 14時30分～17時30分
- (2) 場所 福島第二原子力発電所
- (3) 確認者 福島県 荒竹生活環境部長
小山部参事兼原子力安全対策課長
安江原子力センター所長 他2名
檜葉町 山内環境防災課主任主査
富岡町 渡辺生活環境課主幹兼課長補佐 他1名
大熊町 河田企画調整課係長 他1名

2 確認結果

各事項の確認結果は以下のとおりですが、次の点について更なる取組を求めました。

- 燃料の取り出しや移動の安全性、安全確保のための取組、及びガレキの処理等の進捗状況について、分かりやすく県民に説明すること。

(1) 4号機の復旧状況

- ・5月17日に復旧作業が完了している4号機について、海水熱交換器建屋の残留熱除去系ポンプや建屋の水密扉及び機器ハッチの水密化等を確認した。
- ・冷温停止の維持及び保安規定の遵守に必要な設備の監視状況として、中央操作室において、除熱系統(RHR等)、電源系統、原子炉圧力・炉水温度・原子炉水位、制御棒位置・SRNM指示値などのパラメータを確認し、冷温停止が安定して維持されていることを確認した。
- ・9月10日から開始される原子炉開放(圧力容器上蓋の開放)、燃料移動(原子炉から使用済燃料プールへ)、炉内設備点検の計画について資料について説明を受けるとともに、原子炉建屋6階においてオペレーティングフロア及び使用済燃料プールの状況を確認した。

(2) 1～3号機の復旧作業の進捗状況

- ・ 7月末現在の復旧進捗状況は、1号機44%、2号機46%、3号機69%であり、全号機の完了目標とする平成25年3月までの工程は概ね計画どおりに進捗していることを確認した。
- ・ 原子炉格納容器内における安全上重要な設備の目視点検は、平成24年5月までに全号機で終了し、東京電力は問題となる損傷は確認されていないとしている。現場確認として、3号機原子炉格納容器内において、主蒸気隔離弁、再循環ポンプ、原子炉圧力容器底部ペDESTAL等を確認したが、目視の限りでは特に異常は見られなかった。
- ・ 復旧活動における品質管理として、①社内マニュアルに基づく設計管理や調達管理等を検証する信頼性向上検討委員会（約2回/月）、②是正措置や水平展開等を管理する不適合管理委員会（毎日開催）を継続的に実施していることを確認した。

(3) 安全対策の取組状況

- ・ 緊急安全対策のその後の実施状況として、電源車と電源盤の接続の本設化（24年5月）、ガスタービン発電機車の配備（同6月）を確認した。
- ・ 運転員を対象とする社内訓練の一つとして、サイトシミュレータにおいて、福島第一原子力発電所事故と同じ地震と津波被災による全電源喪失事象を模擬した対応訓練の実施状況を確認した。



- ・ 復旧活動の概要説明
（福島第二原子力発電所事務本館）



- ・ 冷温停止の維持に関する監視パラメータ等の確認
（4号機中央操作室）



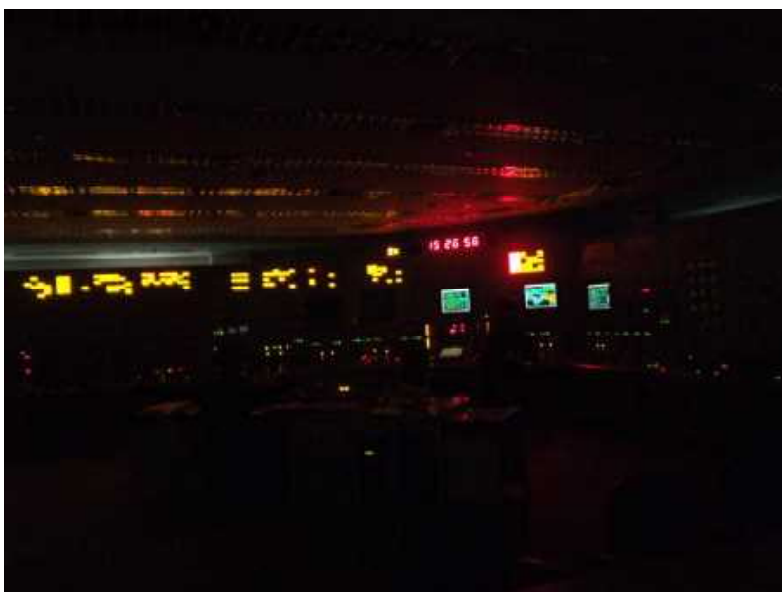
- ・ 原子炉開放／燃料移動が計画されている4号機オペフロの状況の確認
（4号機原子炉建屋6階）



- ・主蒸気隔離弁の目視による
損傷の有無の確認
(3号機格納容器内部)



- ・原子炉圧力容器底部ペデス
タル内の目視による損傷の
有無の確認
(3号機格納容器内部)



- ・全電源喪失を模擬した訓練
の実施状況の確認
(サイトシミュレータ室)